ふれあうナカマ 育む 見守る

学校は地域と共に歩んでいます。宮城県内の小中学校の様子、自慢できることを、児童・生徒が紹介します。

育む 見守る ふれあうナカマ

高崎中

「心技体」高め 礼儀を重視

これがイチオシ

風情ある瓦屋根の校舎

高崎中は多賀城市で一番新しく、生徒数も一番多い学校です。多賀城碑や東北歴史博物館など歴史的な文化を感じられる建造物や施設に隣接しています。学校の敷地内にある遺跡や屋上にあるプールなど、さまざまな特徴がありますが、私たちが紹介したいのは学校の瓦屋根についてです。

学校は瓦屋根により、歴史ある多賀城にふさわしい風情を感じさせる造りになっています。瓦屋根の珍しい造りや高崎中の素晴らしさを、この後の世代にも伝えていきたいです。

学校名　多賀城市立高崎中学校
所在地　多賀城市高崎２の25の１
創　立　1995年
電　話　022(309)3671
校　長　高野　薫
生　徒　527人

弓道部 県中総体で大活躍

高崎中学校には宮城県内でも珍しい弓道部があります。現在、県内の中学校のうち、弓道部があるのは7校です。そのうち3校が市内にあるように、多賀城市は弓道が盛んな地域でもあります。

弓道部では、各自が目標を定め、「心技体」を高めることを目標に日々取り組んでいます。主な練習内容は、大会と同じ形式の「競射」や正しい動作を身につけるための「一手一手」です。部活動の時間は限られており、自主的な練習をしている部員も数多くいます。

弓道はその人の人間性を表すと言われます。技術を磨くだけでは上達しません。日常生活でも礼儀を重んじることを大切にしています。今年の県中総体では、日頃の成果を発揮し、団体戦で優勝できました。

高崎中は部活動が大変盛んです。他の部活動も一生懸命練習に取り組んでいます。支えてくれる先生方や家族、お互いに励まし合う仲間たち、私たちをいつも見守ってくれている地域の方々にも感謝しながら頑張っていきます。

弓道部は心技体を高めることを目指して練習しています

編集委員　佐々木空良、鈴木絢子、川島徹平、伊藤優花、稲村朱莉、渡辺陽菜（３年）津川野乃香、紺野陽菜、高沢向希、鈴木紀花（２年）**指導教員**　大江達哉

わが校 わがまち スクール通信

次回は
桜丘小（仙台市）
歌津中（南三陸町）

湊 小

学年超えて 防災学習に力

居住地区ごとの縦割り班

湊小学校では住んでいる地区ごとに「縦割り班」を作り、班ごとに月に1回、いろいろな遊びをしています。リーダーの6年生が低学年にも分かるようにルールを考え、安全に楽しく遊べるように工夫しています。

年4回の集団下校も縦割り班ごとに行い、安全な歩き方や危険な場所の確認などをしています。一緒に活動するうちに、互いに顔と名前を覚え、仲良く助け合えるようになりました。

湊小は東日本大震災で大きな被害を受けた学校として、地震や津波をはじめ、さまざまな防災学習にも力を入れています。非常階段で屋上に上がったり、歩いて近くの高台に向かったりする避難訓練などを行い、自分の命を守る方法を日々考えています。

学年を超えて声を掛け合い、保護者や地域の方々に協力してもらいながら訓練をしていることも湊小の良さの一つです。

これからも縦割り班活動や防災学習などを大切に、互いに思いやり、笑顔があふれる楽しい湊小を作っていきたいです。

地震を想定した避難訓練では、防災ずきんをかぶり、校庭にすばやく避難しました

編集委員　黒川愛来、木村和寛、高橋由夢、那須野恵叶（６年）保科颯、阿部若菜、及川聖央（５年）**指導教員**　明石佑香、菊地諒、阿部恭子

（写真の一部を加工しています）

これがイチオシ

光る行動に目を向けて

私たちの学校には、きらりと光る行動をしている友達を見つける「きらりびと見いつけた！」があります。困っている人を助けたり、友達を褒めたり、励ましたりしている子を見つけてカードに書き、クラスで発表したり、昼の放送で全校に紹介したりします。

昇降口の「きらりびとコーナー」にはカードがたくさん掲示されています。友達の良さに目を向けられる人が多いことは湊小の自慢です。これからもみんなで「きらりびと」を増やし、すてきな学校にしていきます。

学校名　石巻市立湊小学校
所在地　石巻市吉野町１の３の21
創　立　1873年
電　話　0225(22)0843
校　長　久保田　健一
児　童　119人